

この本は、思わず踊りだしたくなるような題名と、こそあど森のユニークな人たちの、メルヘンタッチに描いていて、現実離れた内容なのに、もしかしたら本当に起こり得るかもしれないという、可能性と期待を持たせながら読み進ませられる本でした。

わたしは、ピアノを習っていて、将来はできることなら音楽の教師になり、そ

の夢と重なるような気がしたところ、どんなミュージカルなのか、興味を持ったからです。偶然見つけた「カタカズラ」の実をコーヒールに入れて飲んだ（正確にいえば、いたずら好きで好奇心旺盛なふたこのハニーとシユガーに知らずに飲まされてしまったのですが）スミレさ

思議な力で見事、仲直りすることができました。こそあど森って、多分わたしに住んでいる地区より、ほんの少しだけ奥に行った所だと思えます。わたしの家も、緑が豊かで空気が澄んだ、とってもいい所です。時々、子ダヌキが遊びにきます。このホタルギツネと

や、いじめ、体の不自由さを克服したものなど、ドキュメンタリー的なものが多く、固くなり、気負って読んでいたように思えます。でも、この本は肩に力を入れることなく、自然に読めて、わたしの心の中に溶けるように入って来ました。いろいろなことでも悩み、気持ち

岩手県小学校校長会会長賞（高学年）

「素敵なミュージカルスパイス」



鳥茂渡小学校6年 高屋敷結さん

んとギーコさんの姉弟は、いつの間にか、体が自然に動き出し、心も軽くとても楽しい気分

同じように、言葉が話せたら、どんなにか楽しく会話ができるでしょうと、想像するだけで楽しくなってきました。今の世の中、とてもめまぐるしく過ぎていき、わたしたちもいろいろな行事を次々にこなしていかなければならず、正直とても忙しいです。そんなことは全く無縁の世界の、こそあど森のお話は、心につるお話を与え、忘れていた何かを思い出させてくれるようでした。

わたしは四月から中学生になります。いろいろな、つらいこと、苦しいことに会うかもしれませんが、常に前向きな姿勢で、自分のミュージカルスパイスを見つけて、毎日楽しく、中学校生活を送っていきたくと思います。

の楽しさをいろいろな人に教えてあげたいと思っています。この本を選んだきっかけは「ミュージカル」という、歌って踊れることが、わたしの音楽に対する将来

まいりました。そして、相手を思いやるがうえの誤解から生まれた心のすれ違いで、ケンカをしていたトマトさんとポットさんの夫婦も、このミュージカルスパイスの不

わたしは今まで主に読んでいた本は、戦争を題材にしたもの

（図書名「ミュージカルスパイス」）
（高屋敷結さんは現在中学一年生に進級しています）

冬休み良書読書感想文コンクール入賞作品